

# 慶應言語学コロキウム

【*Aspects of the Theory of Syntax* 刊行50周年記念企画】

## *Aspects*の主張と世代を越えたその影響

日時：7月11日（土）13:00～18:30

会場：慶應義塾大学三田キャンパス東館G-SEC Lab

参加費無料 申込不要

*Aspects of the Theory of Syntax* の主張と世代を超えたその影響をテーマに特別セッションを開催します。講師に斎藤衛（南山大学教授）、内堀朝子（日本大学教授）、成田広樹（日本大学助教）の三氏をお招きし、1980年代、1990年代、2000年代に研究者として自立していく上で、*Aspects* の主張にどのような影響を受けたか、また *Aspects* が当時の言語研究に与えた洞察とその意義について語っていただきます。講演題目、およびプログラムは以下の通りです。皆様の参加をお待ちしております。

### 《プログラム》

- 13:00 開会挨拶
- 13:15~14:45 基礎科学としての言語学：*Aspects* に示された指針  
斎藤 衛 氏（南山大学）
- 15:00~16:30 Minimalist Program初期の展開と*Aspects*  
内堀 朝子 氏（日本大学）
- 16:45~18:15 *Aspects*からみる統辞法の自律性：併合理論からの再考  
成田 広樹 氏（日本大学）
- 18:15~18:30 質疑応答・ディスカッション
- 18:30 閉会挨拶

主催：慶應義塾大学言語文化研究所  
協力：慶應義塾大学次世代研究プロジェクト B

〈お問い合わせ先〉

〒108-8345 港区三田 2-15-45 慶應義塾大学言語文化研究所  
電話：03-5427-1595（事務室直通） <http://www.icl.keio.ac.jp>  
メール：[genbu@icl.keio.ac.jp](mailto:genbu@icl.keio.ac.jp)（●を@に変えてお送りください）